

保護者の皆様

吹田市立西山田小学校

校長 鬼頭 孝雄

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

今年度も、6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬に、個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は、小学校の最終学年のみを対象とした調査です。今年度は、国語・算数の2教科に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めてまいりましたが、学校全体として課題に応じた学力向上につながる指導法の工夫改善を今後とも図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1. 教科に関する調査結果

#### ●国語《概要》

◎国語 ⇒ 全国の平均正答率を、やや下回っている。

☆各領域における成果と課題

#### 話すこと・聞くこと

- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することについては、全国値をやや上回っている。
- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することについては、全国値をやや下回っている。

#### 書くこと

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることについては、全国値を下回っている。
- ・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについては、全国値を下回っている。

## 読むこと

- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることについては、全国値をやや上回っている。
- ・人物像を具体的に想像することについては、全国値を下回っている。

## 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・学年別漢字配当表に記されている漢字を正しく使うことについては、全国値を上回っている。
- ・文の中における主語と述語の関係を捉えることについては、全国値をやや上回っている。

### 《国語科における成果と今後の指導の改善点について》

文の中における主語と述語の関係を捉えたり、正しい漢字を書いたりする力については、全国値を上回っている。一方で、限られた字数と条件に合わせて、理由を明確にしながら自分の考えを記述する力や、物語を読み取る力については課題がある。

授業では、理由や根拠を明確にして自分の考えをもち、それを文章で表現する活動や、段落ごとに内容の中心となる語や文を読み取る活動を積極的に取り入れていく。

国語科の学習をその時間・その単元・その教科の中だけのものにせず、次の学習や他教科の学習、さらには、日常生活の問題を解決するために、国語科での学びを活用することができるよう、教科横断的に学習を進めていく。

## ●算数《概要》

◎算数 ⇒ 全国の平均正答率を、おおむね上回っている。

### ☆各領域における成果と課題

#### 数と計算

- ・数量の関係を、□を用いた式に表すことについては、全国値をやや下回っている。
- ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することにおいては、全国値をやや下回っている。

#### 図形

- ・直方体の見取り図を理解し、かくことについては、全国値をやや上回っている。
- ・角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することについては、全国値を上回っている。

#### 変化と関係

- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間について考察することについては、全国値を上回っている。

#### 数量関係

- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることについては、全国値を上回っている。
- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することについては、全国値を上回っている。

### 《算数科における成果と今後の指導の改善点について》

基本的な四則や図形の計算問題については、全国値を上回っている。また、グラフや表などの資料の読み取りについても、全国値を上回っている。一方で、文章問題において問われている内容を読み取る力については課題がある。

授業では、基礎基本の力を育成すると同時に、身につけた力をもとに情報を比較検討するなどの活動を取り入れていく。また、求められている内容を的確に読み取ることができるよう、問題文とじっくり向き合い、問いに正対する答えを導き出すという学習を習慣化させる。算数科のみならず、他教科においてもこうした学習活動を取り入れていく。

## 2. 生活習慣や学習環境に関する調査結果

### (1) 自分自身のことについて

- ・「自分には、よいところがあると思いますか。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。」という設問に対して肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか。」という設問に対して肯定的な回答は、全国値をやや下回っている。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」の設問に対して肯定的な回答は、全国値を上回っている。

### (2) 家庭生活について

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」という設問に対して「2時間以上」の回答は、全国値を上回っている。また、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」の設問に対して「2時間以上」の回答も、全国値をやや上回っている。

### (3) 学校生活・学習について

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか。」という設問に対して肯定的な回答は、全国値をやや下回っている。
- ・「学級活動における学級でも話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。」という設問に対する肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができますか。」という設問に対する肯定的な回答は、全国値を上回っている。
- ・「国語の勉強は好きですか。」という設問に対する肯定的な回答は5割程度であり、全国値の6割程度と比べると下回っている。また、「国語の授業の内容はよくわかりますか。」という設問に対する肯定的な回答は8割程度であり、全国値の8割程度と同じである。
- ・「算数の勉強は好きですか。」という設問に対する肯定的な回答は7割程度であり、全国値の6割

程度と比べると上回っている。また、「算数の授業の内容はよく分かりますか。」という設問に対する肯定的な回答は8割程度であり、全国値の8割程度と同じである。

・「理科の勉強は好きですか。」という設問に対する肯定的な回答は7割程度であり、全国値の8割程度と比べると下回っている。

・「英語の勉強は好きですか。」という設問に対する肯定的な回答は6割程度であり、全国値の6割程度と同じである。「英語の授業の内容はよく分かりますか。」という設問に対する肯定的な回答は8割程度であり、全国値の7割程度と比べると上回っている。

#### (4) ICT機器の活用について

・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」という設問に対して肯定的な回答は、全国値をやや上回っている。

・「普段から、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンも含む）をしますか。」「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。」の設問に対して「1時間より少ない」「全くしない」の回答は、全国値を上回っている。

### 3. 今後の取り組み

本市では、「総合的人間力の育成」を目指して、今後、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力、知・徳・体にわたる「生きる力」を育むために、各教科において「何のために学ぶのか」という学ぶ意義について、学校と児童が共有しながら、授業及び指導の研究と実践に日々努めています。

本校におきましても、これらの視点を大切にし、学力向上の取り組みを推進していきます。

学習面においては、各教科で基礎学力の定着をめざすとともに、子どもたちが主体的に学習でき、友達と学び合う良さを実感できるよう授業改善を進めていきます。また、児童が身に付けるべき資質・能力を育むための効果的なICTの活用の在り方を考え、児童がタブレット端末等の使い方についても考えられるよう、デジタル・シティズンシップ教育にも取り組んでまいります。

生活面においては、小中連携を図り、9年間を見通した規範意識の醸成に努めます。様々な教育活動を通して、それぞれの良さが發揮できるような役割や場を設けることにより、責任感を育み、自己肯定感・自己有用感をさらに高めていきます。

今後とも、個々の児童に応じた学力の向上と基本的な生活習慣の確立をめざし、ご家庭と連携しながら取り組みを進めてまいります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。